

2018/9/22（土）から始まった第43回日本ハンドボールリーグは、男女ともに9チーム3回戦総当たりリーグ戦で順位を争うレギュラーシーズンが第20週の3月2、3日、花巻、広島などで男女8試合、最終21週の3月9、10日、盛岡、沖縄などで男女6試合が行われる。

3月2日（土）花巻市総合体育館で、12:00～琉球コラソン vs 大同特殊鋼、14:30～トヨタ自動車東日本 vs トヨタ紡織九州の2試合、3月9日（土）岩手県営体育館で、14:00～大崎電気 vs トヨタ紡織九州の1試合、2週連続3試合が岩手で開催される。

男子は、第19週時点で、大崎電気（17勝2分2敗）、トヨタ車体（17勝1分5敗）、豊田合成（16勝1分4敗）、大同特殊鋼（14勝2分6敗）の4チームが既にプレーオフ出場権が確定した。最終順位によってプレーオフの組み合わせが決まるため、最後まで目が離せない戦いが続く。

【岩手シリーズの見どころ】

◆3月2日（土）花巻市総合体育館

琉球コラソン vs 大同特殊鋼 現在、最下位に低迷する琉球に対し、大同は1月のドイツ世界選手権で日本代表として活躍した東江雄斗を中心とした多彩な攻撃と、2月24日、フィールドシュート阻止1200本記録を達成したゴールキーパー久保侑生選手の攻守に注目。

トヨタ自動車東日本 vs トヨタ紡織九州 トヨタ紡織九州（暫定5位）とトヨタ自動車東日本（暫定7位）の対戦成績は、東日本が1勝1分。今季は上位チームと接戦で敗れるゲームが多く、来季に向けて第2ホームの花巻会場で必勝を期す。地元出身の遠山賢治（花巻北中、盛岡南高、中央大）と上野承太（黒石野中、盛岡南高、日本大）に加えて、2月8日に追加登録した山崎純平（花巻北中→不来方高→早稲田大）の出場に期待が集まる。

◆3月9日（土）岩手県営体育館

大崎電気 vs トヨタ紡織九州 大崎には今シーズンから加入した安倍竜之介（松園中、不来方高、国士館大）が出場。同じく地元出身の馬場佑貴（黒石野中、不来方高、早稲田大）や日本代表の宮崎大輔、信田弘樹、元木博紀、玉川裕康ら豪華メンバーが揃う。第2ホームの盛岡会場でプレーオフ4連覇に向けて弾みをつけたい。

（一方、女子は三重バイオレットアイリスがプレステージ・インターナショナル アランマーレから白星を奪ったことで、プレーオフ進出争いから飛騨高山ブラックブルズ岐阜が脱落。快走する北國銀行に続くプレーオフ出場権は、オムロン、広島メイプルレッズ、三重、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングの4チームによる争いとなった。）

プレーオフは、2019/3/15(金)～3/17(日)、駒沢体育館で、男子、女子ともレギュラーシーズン上位4チームによるステップラダー方式で順位を争う。

詳細は、岩手ハンドボール応援ページ <http://iwate-handball.sports.coocan.jp/>
花巻市ハンドボール協会FB

<https://www.facebook.com/hanamaki.handball/?ref=bookmarks>